

Global Energy Policy Research

GEPR (グローバルエネルギー・ポリシーリサーチ) は、日本と世界のエネルギー政策を深く公平に研究し、社会に提言するウェブ上の「仮想シンクタンク」です。この機関は、アゴラ研究所 (<http://agorajp.com/>、東京) が運営し、エネルギー問題についての研究と調査、インターネットでの情報提供、シンポジウムの開催、提言の作成、書籍の出版を行います。

今週のアップデート

太陽光発電による環境破壊を考える (2015年7月6日)

GEPR編集部 · Monday, July 6th, 2015

アゴラ研究所の運営するエネルギーのバーチャルシンクタンク「GEPR」(グローバルエネルギー・ポリシーリサーチ) はサイトを更新しました。

今週のアップデート

- 1) 太陽光発電の環境破壊を見る(上) - 山梨県北杜市を例に
- 2) 太陽光発電の環境破壊を見る(下) - 無策の自治体

GEPRの編集担当である石井孝明が、太陽光発電の乱開発で問題になっている山梨県北杜市取材しました。大量の証拠写真とともに紹介します。森林伐採などがひどい状況になっており、早急な対策が必要です。

3) 原子力規制委員会の質と権威の向上を(提言)

原子力国民会議という民間団体の提言です。原子力規制委員会の制度改正が自民党で議論されています。それに合わせ、民間から今の状況の改善を訴える主張です。監査組織の設置など、適切と思われる改革案です。

4) 原子力規制委員長「恫喝」への疑問 - 関電美浜審査をめぐり

環境法研究家の東田八幡氏の寄稿です。田中俊一原子力規制委員会委員長が、関電の美浜原発の40年の運転認可延長問題について基準地震動の審査の遅れについて、関電に問題があるとした上に、「審査打ち切りも含め考える」と述べたことの批判です。

今週のリンク

1) 北杜市太陽光発電を考える市民ネットワーク(ホームページ)

今回掲載の太陽光発電による環境破壊の問題について情報の提供をしていただいた、市民グループのホームページです。山梨県北杜市の問題が一覧できます。

2) (教えて!電源構成:3) 太陽光抑制、買い取り制どうなる?

朝日新聞7月4日記事。(現在は有料)固定価格買い取り制度について、太陽光の優遇とその是正という今の行政の動きが分かりやすくまとまっています。

3) 規制委が美浜原発の審査打ち切り示唆 関電、基準地震動見直しの岐路

産経新聞(大阪版)7月1日記事。今回掲載の規制委員会の活動についてまとめた記事。規制委側の要請の混乱も一因であるようで、かなり問題のある行政が行われています。

4) 川内原発1号機 7日から核燃料入れ始め

NHK7月3日報道。全国の原発でもっとも審査の早く進んだ九州電力川内原発で核燃料の挿入が始まりました。8月中旬より運転の検査に入ります。

5) なぜサウジアラビアはソーラー発電に進むのか

アトランティック(米ニュース雑誌)7月号。英文はWhy the Saudis Are Going Solar。日照の良さ、平坦地が多く太陽光発電の適地です。国内の石油消費量を減らすため、政府は奨励策を打ち出しています。しかし大産油国でエネルギーの大量使用になれた国民からは投資意欲が起きないそうです。

This entry was posted on Monday, July 6th, 2015 at 1:00 pm and is filed under [アップデート](#)

You can follow any responses to this entry through the [Comments \(RSS\)](#) feed. Responses are currently closed, but you can [trackback](#) from your own site.